

<活動報告書>

フリガナ	ホッカイドウキタミコウギョウコウトウガッコウ	
①団体名・学校名	北海道北見工業高等学校	
②担当者	フリガナ	
	氏名	
	所属 役職	教務部長・建設科長
	TEL	0157-36-5524
	E-mail	
③申請テーマ	「地域創生と技術の伝承」～豊かな自然を活かしたユニバーサルツーリズムを目指して～	
④活動期間	2018年 4月 ～ 2020年 3月	
⑤活動内容を記載	<p>緑化事業による公園整備（桜並木公園）に必要な施工技術・造成技術について研究を進め、安全で人や環境に配慮した実践的なものづくり教育を、地域の企業や大学等と連携して推進する。また、整備における副産物をどのように有効活用をするのか検討し、地域に発信できる材料とすべく関係機関と連携を図り、推進していく。建設・観光産業等にも主体的かつ総合的に関わることができる知識・技能を修得し、有機的・総合的な結合を図ることができる、地域社会の担い手の育成を関係機関と連携して推進する。</p> <p>研究開発成果を地域の「町おこし」や「観光資源」として活用するほか、学校と地域の産業が協力して、実現に向けた実践的な取り組みを推進するとともに、クラウドサービスを活用して、研究の進捗状況について関係機関とリアルタイムに連携・協働を進める。また、地元小学生の環境教育やボランティア活動の場としての活用を進めるために活動を行っている。</p> <p>現在は予算の都合上生徒が授業において手作業を進めることが多く、進捗状況が予定よりも大幅に遅れている。今後、色々な形で支援を募れるよう、現在の計画を広く地域に知ってもらえるように案内看板を設置しようと計画をし、本助成を受けることとなった。今後、生徒が自ら企業や道路管理者と交渉を重ねて、実習地の入口が分かるように国道に看板を設置する予定である。</p>	
⑥活動費用合計	180,000円	
⑧別紙説明資料の有無	ある ・ なし	

<活動状況写真>


【写真1】

	<p>(状況説明)</p> <p>一般開放に向けて土地の区画を出し、公園を整備するために山林部の測量を行った。従前実習地として使用していた際に設置していた境界杭を測量にて発見ができ、そこを起点に区画を再度確認した。その中に公園が整備されるよう見出しの杭を設置した。</p>
---	--

【写真2】

	<p>(状況説明)</p> <p>学校林内を流れる小川の下流部に池を造り、ピオトープ環境を備えたオープンスペースの製作をするため、河川の付け替え工事を行った。地層や山の地形上、水の流れが複雑であり、河川を付け替えても下流の水が完全に切り替わらず苦慮している。今後は水の流れを調査するとともに、池の造成や池までの遊歩道を整備していく。</p>
--	--

【写真3】

	<p>(状況説明)</p> <p>学校林中腹にある小屋の前は、先輩方が整備してくれたおかげで、街を見下ろせる絶景のポイントになっている。この場所を本公園整備計画の目玉とすべく、展望台を設置して夜景が見えるスポットにしようと整備中である。</p> <p>土台は学校で製作をしたコンクリートブロックを使用し、水平になるように現地で測量をしながら設置した。今後は上物を製作し、現地にて調整を行う。</p>
---	---